ビジネスホテル喜界
すぐそこ
☎65-3838
たちは 人が好き 自然が好き

喜界バス
湾
のりば

撰　文
この墓地附近は　昔から「坊主の町」という地名で呼ばれ
北の地に俊寛僧都の墓と伝えられる墓石があり　その下から
人骨及び金具と木片が発見されました　町では昭和50年1月
当時　国立博物館の人類学部長　鈴木　尚先生に鑑定を依頼
その結果　人骨について縄文時代人の形相ではなく　歴史時代
人として相当の身分の高い人物の遺骨と推定　同時に発見さ
れた立派な金具のついた木棺は　木曽地方に産するクロベ
材と鑑定され　俊寛僧都の墓であることに自信を深めた　京
都市にある平安博物館では　この人骨を原形とする等身大の
座像を安置し　昭和60年3月24日開眼供養が行なわれました
俊寛僧都は　治承元年（1177年）京都鹿ヶ谷にて平清盛
等政権のかどで鬼界島に遠島　治承4年（1180年）赦免
されることなく　生涯を閉じている　本町でもこの地に眠る俊
寛僧都の座像を安置し　後世に伝えるものであります
昭和61年3月2日
鬼界町

500m メンハナ公園
Menhana Park
俊寛の墓
The Tomb of Priest shunkan

中里
のりば

喜界バス
荒 木

喜界バス
荒木

石敢當

石敢當

かごしまロマン街道
ガジュマル巨木
Banyan Big Tree
200m

町指定　天然記念物
ガジュマル群
クワ科。　ガジュマル
種子島・屋久島以南の南西諸島に広く
分布する常緑高木。
ガジュマルは屋敷の防風垣として重要
な役割を果たしてきた。このガジュマル
は「我がシマの宝」として指定した。
喜界町教育委員会

「フナンデー石の由来」
（舟をつなぐ石の意）
伝説によると大りの商人トし、ーが宝物をいれた大袋を
背負わせたこいてここまで来て立ち止まった
途端に宝物の袋と杖も大石と化し、と展示に銘変したものといわれている
現在でもクヤネイシ・フナンデーと呼ばれ集落民に崇められていたが昭和四十七年道路拡張工事のためクヤネイシは行方不明となった。
平成四年これを復元して集落民の安泰を願念するため建立した。
平成四年六月

「フナンテー石の由来」

喜界バス
先 山
きばろう会
先山

郵便
POST

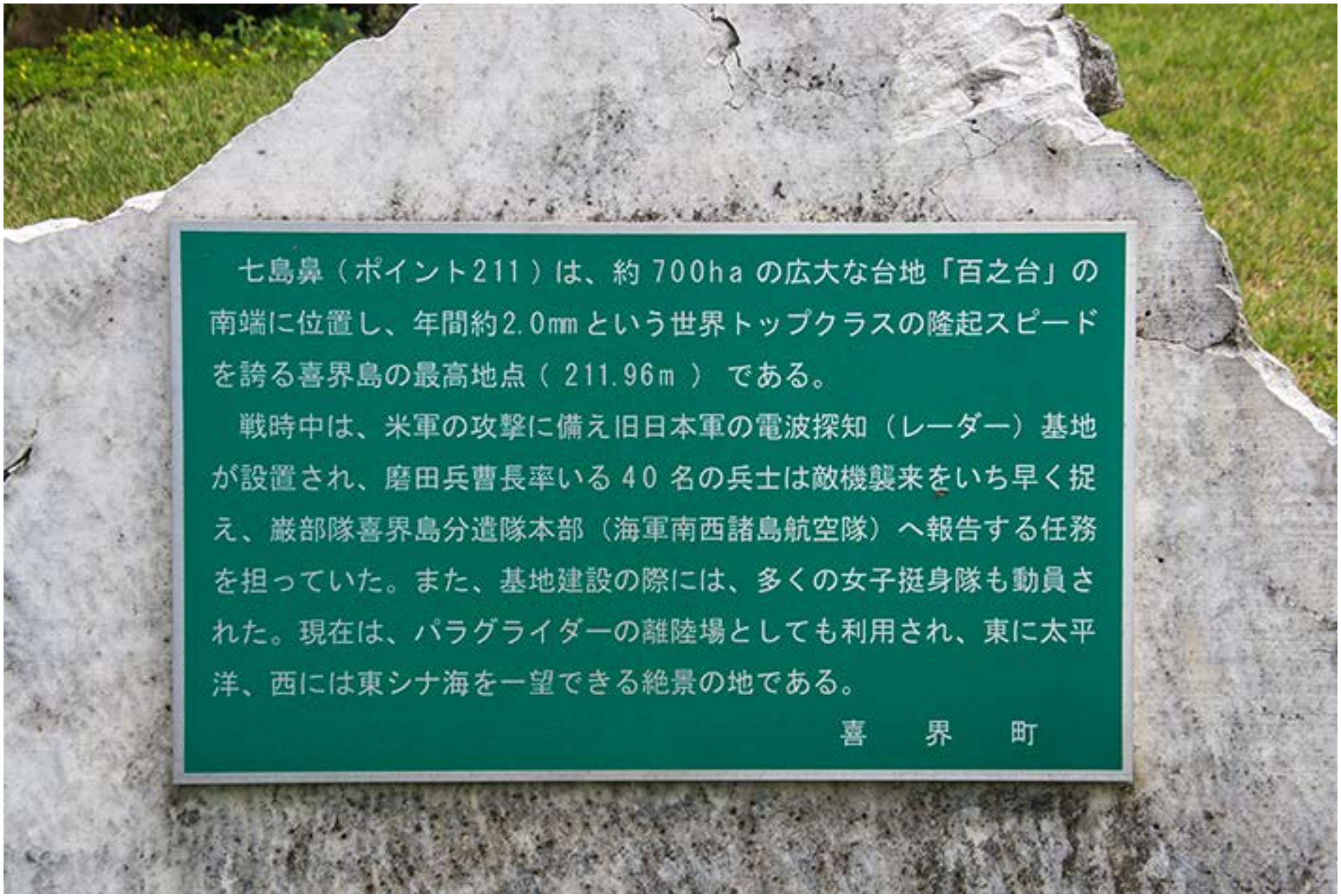
川嶺
1.5Km Kawamine
中西
Nakanishi 500m

畑かんで
みのり豊かなわちゃ島に
清掃業地区
島中地区
嘉手浦2期地区
嘉手浦地区
ムチャカナ地区
現在地
喜界事務所土地改良課

中西公園

百之台公園
中西公園

嘉界島最高地点


七島鼻（ポイント211）は、約700haの広大な台地「百之台」の南端に位置し、年間約2.0mmという世界トップクラスの隆起スピードを誇る喜界島の最高地点（211.96m）である。
戦時中は、米軍の攻撃に備え旧日本軍の電波探知（レーダー）基地が設置され、磨田兵曹長率いる40名の兵士は敵機襲来をいち早く捉え、厳部隊喜界島分遣隊本部（海軍南西諸島航空隊）へ報告する任務を担っていた。また、基地建設の際には、多くの女子挺身隊も動員された。現在は、パラグライダーの離陸場としても利用され、東に太平洋、西には東シナ海を一望できる絶景の地である。
喜　界　町

七島鼻（ポイント211）は、約700haの広大な台地「百之台」の
南端に位置し、年間約2.0mmという世界トップクラスの隆起スピード
を誇る喜界島の最高地点（211.96m）である。
戦時中は、米軍の攻撃に備え旧日本軍の電波探知（レーダー）基地
が設置され、廣田兵曹長率いる40名の兵士は敵機襲来をいち早く投
え、最部隊喜界島分遣隊本部（海軍南西諸島航空隊）へ報告する任務
を担っていた。また、基地建設の際には、多くの女子挺身隊も動員さ
れた。現在は、パラグライダーの離陸場としても利用され、東に太平
洋、西には東シナ海を一望できる絶景の地である。
喜　界　町

七十七曲り
(降り口)(九十九曲り)
七十七曲り(九十九曲り)

七十七曲り（九十九曲り）
百之台地（標高２００m）を主軸に南北へと流れる断崖であるため、百之台地での農耕作業や、市街地（湾・赤連集落）への交通手段として七十七曲りは、阿伝集落の人々や農耕馬が昭和30年代まで利用されていた。
また、喜界高校（当時坂嶺集落にあった）通学路としても利用されていました。
七十七曲り以外にも花良治・蒲生・嘉鈍・白水集落からも山道が数本あったようである。

北
東
南
西
7,400km
9,000km
2,400km
1,800km
420km
3,500km
13,700km

早 町·志戸桶
Soumachi Shitooke
ムチャ
加那公園
小野津
Onotsu
百之台公園

ムチャ加那の碑

ムチャ加那の碑

ムチャか郡節
吾等や　小野津
十枝ムチャか郡
青さ海苔はぎに
いきよやムチャか郡

ムチャカ那公園

望郷の碑

雁股の泉
保元の乱(一一五六年)
で敗れた源為朝は伊豆大
島に流され、一一六五年
(永万元年)琉球に渡ろ
うとした途中にしけにあい
潮流に乗って喜界島の沖
合にたどりついたとき、
船上から島をめがけて雁
股の矢を放ち、上陸の後
その矢を抜いた痕より清
水が湧き出た。
その泉を雁股の泉と
いいます。
喜界町

小野蕭氏之胸像

シーマンズJr

喜界バス
坂嶺
のりば

喜界バス
坂 嶺
のりば

中 服
のりば

喜界バス
先 内
のりば
TranceSit
サバニ

喜界バス
池 治

保食神社

喜界バス
赤 連

喜界バス
海岸通り
29-47